



あらすじ

影絵2作品と、人形劇1作品の3本を上演。
影絵は、ジャワ出身のローフィが伝統スタイル(ワヤン・クリ)で演じます。
音楽は、インドネシアのガムラン楽器で生演奏します。
公演時間：約50分 休憩無し
企画・構成：想造舎

◆音楽影絵「まる○さんかく△しかく□」

オリジナル/10分間

ファンタジックな音楽影絵。△や○が形を変えて現れては消えて重なり合い、やがて女の子があらわれ、お月様と空を漂い海をこえていきます。

◆音楽影絵「きんぎょが にげた」

五味太郎：作/約20分

金魚鉢からきんぎょがにげ出した！部屋をとびだし街へそして南国の森へと。そこで誰と出会うのかな？優しい語りと生演奏に合わせてみんなで歌い、隠れたきんぎょをみつけよう！

五味太郎のベストセラー作品が、インドネシアの伝統影絵の手法とガムラン生演奏で楽しい影絵になりました。

◆動物人形劇「ワニとやんちゃなしか・カンチル」

ジャワ島の民話/約15分

主人公の「カンチル」は、手のひらにのる程の小さなマメジカでとても賢くくて森の人気者。

お母さんのお使いで川までやってきたカンチル。水を飲んでいると大きなワニに捕まってしまう。そこでカンチルはワニたちに言います。「僕を食べるのなら仲間のワニたちをつれておいでよ」。向こう岸まで1列に並んで待つワニたちに、カンチルはトンチをかします。

影絵音楽団くぷくぷについて

「くぷくぷ」は、ジャワ語でチョウチョウの意味。出演は、影絵遣いのローフィ(ローフィット・イブラヒム)とガムランと語りの佐々木宏実。インドネシアの伝統音楽ガムランと影絵芝居ワヤン・クリを上演するハナ☆ジョスが、幼児のために伝統の間口を広げ幅広いスタイルでの上演を目的にたちあげたユニット。ワヤン・クリは、1,000年の歴史がありユネスコの無形文化遺産に登録されている。



赤磐子どもNPOセンターのご案内



あそび
は
子どもの
主食です

子どもが思いっきり遊べる場所や、時間が減っています。赤磐子どもNPOセンターでは、自然や人とのふれあいを通して、子どもたちを健全に育む活動を実施しています。

キャンプ、プレーパーク、ワークショップ、子どもまつり、山遊び、川遊び…自然の中で様々な年齢や、学区を超えた子どもたちがふれあえる遊び場を企画しています。

みんなで遊びましょう！
子どもたちが主役です！！

●世帯会員制

一世帯月額1000円

(世帯会員制一同世帯全員が会員)

●主催事業への優先的なご案内と参加費の割引があります。